

牛久：学校周辺に見る自然

第3号 みずべ公園

2016年7月6日発行

く 初夏のみずべ公園・生きもの観察 ～①植物に集まる虫たち - アキグミ>

皆さん、お久しぶりです。パソコンとカメラがほぼ同時期に故障して、第3号以降が発行できずになりました。カメラはレンズだけ購入し、パソコンはテレビにつなげてようやく作業ができるようになりました。だいぶ過ぎてしまいましたが、5/12にひたち野うしく小4年生と歩いたみずべ公園はどうしても記録に残しておきたかったので、少しずつ記事にしていこうとしました。今回からしばらくは、花に集まる昆虫たちを紹介いたします。第3号はアキグミと虫たち。



強く甘いにおいを漂わせるアキグミ。花は始め白色だが、しだいに黄色みを帯びる。葉裏は毛におおわれて銀色に輝く。

広場からオタマジャクシ(ヒキガエル)の池に向かうと、甘いにおいが漂っていました。つられて近づくと、満開のアキグミでした。



秋に実が熟すから「秋グミ」で、原発事故以前には秋の観察時に児童の皆さんにもよく味見をしてもらったものでした。

葉の裏が銀色に輝いていますがこれは銀色の毛にびっしりおおわれているからで、花は始めは白色ですがしだいに黄色を帯びるようになります。

蜜を吸う、キンケハラナガツチバチ。

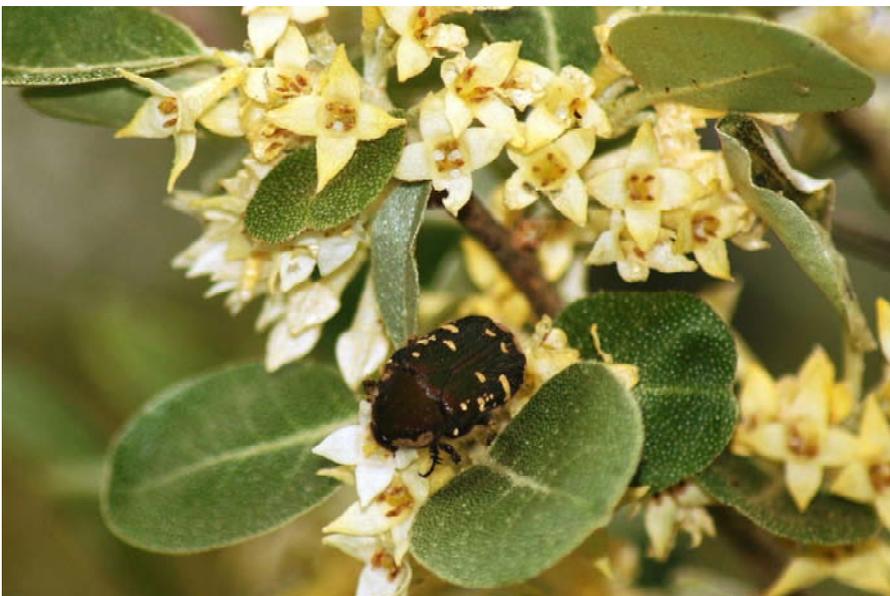


花の蜜を吸う、セイヨウミツバチ(左)とオオスズメバチ(右)。



蜜をなめるナミハナアブ。
一見ハチのようだが、ハエに近い仲間

蜜を吸う、アオスジアゲハ。



多数訪れていて、花粉や蜜を食べていたコアオハナムグリ。

あま
甘いにおいにかきまわって、ミツバチなどハチの仲間やコアオハナムグリなどのハナムグリの仲間、アオスジアゲハなどチョウの仲間がよく訪れるようです。そして、そんな花に来る虫たちを待ちかまえてつかまえて、食べてしまう虫もいました。クモの仲間やスズメバチです。グミの木一本ながめているだけでも、いろいろな虫を観察することができました。

【理科支援員：宮内】



花に来た虫（ハエかハナアブのようでした）を捕え、あっという間に食べてしまったオオスズメバチ。